

Monthly Magazine Matsunami

[発行]社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院

2022 September
9
No.275

当院の医師が「Best Doctors in Japan 2022-2023」に選出されました。

医師が選ぶ名医「Best Doctors in Japan 2022-2023」に森脇久隆特別顧問、鶴見 寿医師、荒木寛司医師、杉原潤一医師、坂 英雄医師の5名が選出されました。今後も地域の皆さんに安全で質の高い医療を提供できるよう努めてまいります。

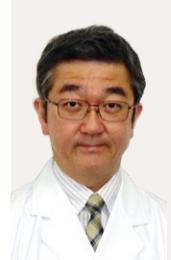
今回選出された医師からのコメント

ベストドクターについて詳細は右記のQRコードからご確認ください。

[ベストドクターズ-Best Doctors ホームページ](#)



※Best Doctors、star-in-crossロゴ、ベストドクターズ、Best Doctors in Japan、は、米国およびその他の国におけるBest Doctors, Inc.の商標です。



病院長代理 兼 がんセンター長 鶴見 寿

今回もBest Doctors in Japanに選出いただき大変に光栄です。これは、学閥や専門に関係なく、医師同士で相互評価するものと聞いております。医師同士での評価であり、信頼性の高い指標の一つだと思いますが、医師は患者さんや医師以外のスタッフからの信頼を得ることも重要です。改めて襟を正し、患者さんやあらゆる職種からも信頼される医療を遂行するべく努力をしたい所存です。



蘇西厚生会 特別顧問 森脇 久隆

昨年度末をもって岐阜大学長を退職し、2022年4月蘇西厚生会特別顧問に就任しました。岐阜大学から継続してのBest Doctors in Japan選出です。得意分野は消化器病、肝臓病、栄養で、各種学会の「エビデンスに基づく診療ガイドライン」構築自体に関わりました。皆様のお役に立てれば幸甚です。



顧問 兼 消化器病センター長 杉原 潤一

2008年から今回2022年(岐阜県総合医療センター～松波総合病院)にかけ8期連続して選んでいただき、大変名誉なことと深く感謝しております。今後も地域の医療機関の先生方と連携を密にしながら、多くの患者さんのために最適な医療を提供できるよう努力していく所存ですのでよろしくお願いいたします。



副院長 兼 光学診療センター長 荒木 寛司

消化器内科、特に胃や腸の病気の診療に取り組んでいます。早期がんの内視鏡治療は身体の負担が少なく、多くの患者さんに受けさせていただいています。また、クロール病や潰瘍性大腸炎の患者さんの日常生活がよりよくなるように新しい治療を取り入れて診療しています。



呼吸器内科部長 坂 英雄

Best Doctors in Japan 2022-2023に引き続き選んでいただきました。全国の専門医の中から投票で選ばれるので、光栄です。タダで頂けたので、ありがたく受け取ることにしました。ちゃんと臨床をしている証として、心の勲章にしたいと思います。



次のページは、「**乳がん治療と遺伝子**」について

Matsunami Information

NEWS

当院をご利用される皆さんへ、新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ

面会禁止、夜間施錠について



発熱症状で受診される方へ [来院前にご確認ください]



引き続き、多大なご迷惑とご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解ご協力のほどよろしくお願ひいたします。各お知らせの詳細は、左のQRコードよりご確認ください。

松波総合病院柔道練習会のご案内

当院の柔道部発足に伴い、柔道の練習会を開催しています。柔道経験者だけでなく、未経験の方でも一からご指導します。女性の方には、護身術をお教えいたします。

右記の日程・場所で行っておりますので、ご家族・ご友人などお誘い合わせのうえ、参加される方は、右記の連絡先に事前申し込みをお願いします。

日時	毎週月曜日・木曜日(祝日は休止です) 17時30分～19時00分
場所	笠松中央公民館 1階 多目的室 柔道場
連絡先	058-388-0111(内線 51668) 松波総合病院 柔道部監督 松井

当院の医師が「Virtual Doctors Dilemma Competition 2022」にて準優勝しました。

6月26日(日)に開催されたACP日本支部年次総会・講演会の中で「Doctors Dilemma」というトーナメント形式で対戦するクイズ大会が行われ、当院の若山裕人医師、加藤萌医師が準優勝しました。

クイズでは医療の様々な分野から、ACP米本国部が提供している問題集「MKSAP」を利用した問題やオリジナル問題が出題されました。

この大会結果により2023年4月27日～4月29日にアメリカのサン・ディエゴで開催されるACP米本国部年次総会の本戦に出場します。若山医師と加藤医師は「本戦では英語で問題が出題されるので英語の勉強も頑張りたい」と本戦に向けて意気込みを語りました。皆さまのご声援をよろしくお願いします。

左から加藤 萌医師、若山裕人医師



10月16日(日)に「第13回 日曜乳がん検診」を開催予定です。

当院は、J.M.S(ジャパン・マンモグラフィー・サンデー)賛同医療機関です。当院では、多忙な平日をお過ごしの皆さんに「日曜日に受けられる乳がん検診」を実施いたします。申込開始日などの詳細は、後日松波総合病院ホームページ、SNSなどで告知いたします。

[J.M.S公式ホームページ▶](#)



日時	2022年10月16日(日) 午前8時30分～午後12時00分
検査内容	①コース 専門医による触診・マンモグラフィー・乳房エコー 9,000円(税込) ②コース 専門医による触診・乳房エコー 4,500円(税込)

※マンモグラフィー・乳房エコーは女性技師が行います。

駐車場のご案内

立体駐車場への入庫は、左折のみとさせていただきます。右折入庫は渋滞の原因となりますので、右折入庫をなさないよう、ご理解とご協力をお願いいたします。



ARアプリ COCOAR導入しました!!

アプリを起動し、「月刊まつなみ」の表紙でお試しください!!



ダウンロード・詳しい使い方はこちらから!(リンク先は病院HPです)



社会医療法人蘇西厚生会

松波総合病院

〒501-6062 岐阜県羽島郡笠松町田代185-1

TEL 058-388-0111(代)

FAX 058-388-4711

<https://www.matsunami-hsp.or.jp/>

— 女性のがんの中で最も罹患数の多い”乳がん” —

乳がん治療では、遺伝子検査を行うことで適切な治療方法を判定することや、術後の再発・転移予測が可能になります。

乳がんと遺伝子治療

がんの遺伝子検査に基づく治療についての話題が最近、ニュース等あちこちで取り上げられる機会が増えました。そもそも遺伝子とはなんでしょうか？私たちの細胞のすべてに存在し、体を作り、保つための必要な情報の源です。そのため、遺伝子が変化すると、体の正常な働きが保たれなくなることがあります。遺伝子の変化のことを「変異」と呼びます。ほんの少しの変異であっても、遺伝子の働きが大きく変わってしまうことがあります。がんは遺伝子に生じた変異が原因で起こる病気なのです。

乳がんの種類と治療薬

乳がんも例外ではありません。乳がんの治療は主に手術、薬物、放射線療法がありますが、現在薬物療法に遺伝子の検査は欠かせないものとなっています。

古くは1960年代より使用されている内分泌療法の薬は、「ホルモン受容体陽性*1」というがん細胞の遺伝子の特徴をとらえ、それを抑制する作用を利用したもので、2001年には、「HER2(ハーツー)陽性乳がん*2」に対して特効薬とも言えるトラスツズマブ*3による治療が可能になりました。

また、ここ数年の間にBRCA遺伝子異常でおこる遺伝性乳がん卵巣がん*4や、腫瘍周囲の免疫に関するPD-1/PD-L1を産生する乳がん*5に対する薬剤も開発され、多くの患者さんの治療に役立っています。



*1「ホルモン受容体陽性乳がん」(乳がん全体の約70%)

女性ホルモン(エストロゲン)を栄養として増殖します。「エストロゲン受容体陽性乳がん」と呼ぶこともあります。治療には、主にホルモン療法が行われます。

*2「HER2(ハーツー)陽性乳がん」(乳がん全体の約15~20%)

がん細胞の増殖に関係するタンパク質です。このHER2タンパク質が、乳がん細胞の表面に過剰に存在するものがHER2陽性乳がんです。

*3「トラスツズマブ」

HER2(ハーツー)陽性乳がんの原因である、HER2と呼ばれるタンパク質だけに作用して、がん細胞の増殖を止めることで治療を行う薬です。正常な細胞へのダメージが少なく、副作用が抑えられると考えられています。

*4「遺伝性乳がん卵巣がん」(乳がん全体の約4%)

この診断を行うためには、BRCA1遺伝子とBRCA2遺伝子を調べます。BRCA1/2遺伝子のどちらかに病的変異があると、乳がんだけでなく卵巣がんも発症しやすい傾向があります。

*5「PD-1/PD-L1を産生する乳がん」(乳がん全体の約5%)

PD-1とPD-L1が結合すると、T細胞のがん細胞を攻撃する働き(免疫)を抑制もしくは停止させます。これを「免疫チェックポイント」と呼びます。

遺伝子検査による術後治療のアプローチ

さらに、最も多くの人に恩恵をもたらす可能性のある遺伝子検査が近々保険適応となります。それは「OncotypeDX(オンコタイプディーエックス)」という検査です。2004年に米国の学会で報告され、現在まで米国・欧州で標準診療の一環として用いられてきました。日本では、今まで自費診療として検査を受けることは可能でしたが、検査料が30~40万円と高額なため、希望者全員が受けすることは困難でした。

この検査は術後のホルモン療法に加えて、化学療法が再発予防に効果があるかどうか、乳がん組織の一部を利用して、21種類の遺伝子を調べることにより予測するものです。従来は腫瘍の大きさ、リンパ節転移の数、腫瘍の悪性度等で化学療法を選択してきましたが、本検査法によって、より正確に化学療法の効果を判定でき、試算では約半数の方(日本で年間2万人余り)は、ホルモン療法のみで化学療法を受けることが回避できます。また逆に化学療法が必要な人も見分けることが可能になります。

今後さらに、乳がんに限らず、多くのがん種で患者さん個々の遺伝子に適した、より少ない副作用で、より効果のある治療法が開発されていくと思います。大いに期待しましょう。

遺伝子検査 OncotypeDX(オンコタイプディーエックス)



乳がん治療の術後

再発とリンパ節転移

乳がんの手術治療において、乳房部分切除術(乳房温存術)を行った患者さんは、術後残った乳房に対して再発予防のため放射線治療を行います。乳房切除術を行った場合でも、がん細胞がリンパ液に流れ込んだ場合(リンパ節転移)は、転移の範囲や領域によって、放射線治療または化学療法を選択して行うことがあります。

リンパ浮腫

乳がんや他がん治療を行う中、リンパ節の切除や放射線治療、一部の薬物療法などによって、「リンパ浮腫」を引き起こす場合があります。これはリンパ液の流れが悪くなることで手足などにむくみが出るという、後遺症の一つです。

リンパ浮腫は手術後すぐ発症する場合や数年経って発症する場合など様々なケースがある他、いったん起きると治りづらいことがあるため、専門家の指導のもと予防を行うことが大切です。

リンパ浮腫外来

当院では、リンパ浮腫外来を開設しております。

専門家によるリンパ浮腫の発症・悪化予防の治療と指導を行い、がん治療患者さんのアフターケアをしております。

当外来の特徴として、「医療リンパ浮腫セラピスト」「メディカルアロマ専門看護師」の資格を持つ看護師による、アロマオイルを使用したリンパドレナージを実施しています。

当院を受診する患者さんはもちろん、がん治療を他院で行った方でも当外来を受診することができます。詳細はホームページでご案内しておりますので是非ご覧ください。



担当医師プロフィール

乳腺外科・リンパ浮腫外来担当

まつなみ健康増進クリニック クリニック長

花立 史香

(はなたて ふみか)



乳腺外科担当

乳腺外科部長

森 美樹

(もり みき)



専門分野

▶ 乳腺外科 ▶ 腹腔鏡下胃切除術

▶ 腹腔鏡下手術 ▶ 消化器外科

資 格

- ・日本外科学会:認定医、外科専門医、指導医
- ・日本乳癌学会:乳腺専門医
- ・日本がん治療認定医機構:がん治療認定医
- ・マンモグラフィ検診精度管理中央委員会:検診マンモグラフィー読影認定医師

専門分野

▶ 乳腺外科

▶ 消化器外科疾患

資 格

- ・日本外科学会:外科専門医、指導医
- ・日本乳癌学会:乳腺認定医、専門医
- ・日本消化器外科学会:消化器外科専門医、指導医
- ・日本消化器病学会:消化器病専門医、指導医
- ・日本肝臓学会:肝臓専門医
- ・日本腹部救急医学会:腹部救急認定医
- ・日本医師会:認定産業医
- ・日本がん検診精度管理中央機構:検診マンモグラフィー読影認定医